

平成27年度 三条市生活科部 活動報告

顧問 竹内 行一

部長 後藤ゆきえ

1 研究主題

主体的に活動し、気づきの質を高める子どもの育成
～授業力向上のための実技研修を通して～

2 研究概要

学習指導要領解説「生活編」には、生活の改善の基本方針の第2として「気づきの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さやおもしろさを実感する活動を取り入れる。」と示されている。気づきの質を高めるためには、子どもたちの自発的・主体的な対象とのかかわりが必要である。気づきの質を高め深めるためには、子どもたちにとって、魅力ある授業でなければならない。そのためには、質の高い教材研究は不可欠である。本年度は、一人一人の教材研究の助けとなるような実技研修を実施することとした。

3 研究の実際

- (1) 期日 6月25日(木) 15:00～16:30
- (2) 会場 三条市立大崎小学校 理科室
- (3) 参加者 三条市小学校教育研究会 生活科部員22名
- (4) 活動名 「身近な材料を使ったおもちゃ作り」
- (5) 講師 三条理科センター協力員 鈴木 禎弘 様

ペットボトルや紙コップなどの身近にある材料を使って、おもちゃ作りの実習を行った。豊富な材料を使って、工夫が加えられ遊び方の工夫もできるおもちゃの作り方をたくさん紹介していただいた。来年度使用する新しい教科書(2年生)のおもちゃも紹介していただき、すぐに授業に生かせる研修であった。



4 成果と課題

研修は豊富な資料や材料を用意していただき、子どもたちの「作ってみたい」という意欲を大切にして活動できる教材であった。実技研修が、授業の質の向上につながり、授業に生かすことができた。